

**2004 年度**  
**政務調査費支出報告書**

2005 年 6 月

日本共産党広島市会議員団

# 目次

|  |    |
|--|----|
| 政務調査費とは.....                           | 1  |
| 何に使った? 何に使える? 市民にわかりにくい今のしくみ.....      | 3  |
| 「より厳正に、よりわかりやすく」日本共産党は自主的に公開しています..... | 3  |
| 自主的な使途基準とこれまでの見直し.....                 | 4  |
| 使途基準に対する司法判断（京都地裁 2004年9月15日）.....     | 6  |
| 2004年度 支出の概要.....                      | 8  |
| 2004年度 年間支出一覧および推移.....                | 10 |

(別冊)

■ 2004年度 政務調査費 月別支出(議員事務所にかかわる費用以外)

■ 2004年度 政務調査費 議員事務所別支出

■ 参考資料

1. 政務調査費の「不透明性」をめぐる注目すべき事件
2. 全国で広がる「公開」のとりくみ
3. 議会の自発的なとりくみで公開を

## 政務調査費とは

政務調査費は、「広島市議会の会派に対する政務調査費の交付に関する条例※」に基づき、「会派のおこなう調査研究活動などに必要な経費」として支給されているものです。※市のホームページ(<http://reiki.city.hiroshima.jp/reiki/reiki.html>)をご参照下さい

会派に所属する議員1人あたり月額 34 万円が会派に支給され、下表に掲げる経費に充てることができます。

| 項目     | 内容  |
|--------|---|
| 研究研修費  | 会派(議員)が、研究会、研修会等を開催するため、または他の団体の開催する研究会、研修会等に参加するために要する経費(会議費、交通費、旅費等)  |
| 調査旅費   | 会派(議員)のおこなう調査研究のために必要な先進地調査または現地調査に要する経費(交通費、旅費、宿泊費等)                   |
| 資料作成費  | 会派(議員)のおこなう調査研究のために必要な資料の作成に要する経費(印刷製本費、事務機器の購入・リース代等)                  |
| 資料購入費  | 会派(議員)のおこなう調査研究のために必要な図書、資料等の購入に要する経費                                   |
| 広報費    | 会派(議員)の調査研究および議会活動ならびに市政について市民に広報するために要する経費(ニュース・報告書等の製作費、送料、会議費等)      |
| 広聴費    | 会派(議員)が、市民からの市政、会派の政策等に対する要望、意見等を聴取するための会議等に要する経費(会場費、印刷費、茶菓子代等)        |
| 人件費    | 会派(議員)のおこなう調査研究を補助する職員を雇用する経費   |
| 事務所費   | 会派(議員)のおこなう調査研究のために必要な事務所の設置および管理に要する経費(事務所の賃借料、維持管理費、備品・事務機器の購入・リース代等) |
| その他の経費 | 上記以外の経費で会派(議員)のおこなう調査研究に必要な経費   |

年度終了後 30 日以内に、項目ごとの年間支出合計額を記載した報告書(A4サイズ 1 枚)を議長あてに提出し、余ったお金は市長に返還するしくみです。

なお、現行規定に基づく日本共産党市議団の2004年度(平成 16年度)の収支報告書は次ページのとおりです。

平成17年 4月 28日

広島市議会議長 浅尾 幸正 様

会派名 日本共産党

代表者 中 森 辰 一



広島市議会の会派に対する政務調査費の交付に関する条例第9条の規定により、政務調査費の収支報告書を次のとおり提出します。

## 平成16年度政務調査費収支報告書

## 1 収 入 (単位：円)

| 項 目        | 収 入 額      | 備 考            |
|------------|------------|----------------|
| 政務調査費交付金   | 20,400,000 | 会派職員雇用費交付金を除く。 |
| 会派職員雇用費交付金 | 2,147,307  |                |
| 預 金 利 息    | 5          |                |
| そ の 他      | 0          |                |
| 合 計        | 22,547,312 |                |

## 2 支 出 (単位：円)

| 項 目         | 支 出 額      | 備 考 |
|-------------|------------|-----|
| 研 究 研 修 費   | 146,690    |     |
| 調 査 旅 費     | 504,368    |     |
| 資 料 作 成 費   | 722,503    |     |
| 資 料 購 入 費   | 868,762    |     |
| 広 報 費       | 3,478,917  |     |
| 広 聴 費       | 29,515     |     |
| 人 件 費       | 4,800,000  |     |
| 事 務 所 費     | 9,514,248  |     |
| そ の 他 の 経 費 | 0          |     |
| 小 計         | 20,065,003 |     |
| 会派職員雇用費     | 2,147,307  |     |
| 合 計         | 22,212,310 |     |

## 3 収入支出差引残額 (返還額)

335,002円

## 何に使った？ 何に使える？ 市民にわかりにくい今のしくみ

政務調査費は、市民の貴重な税金（広島市一般会計）で全額賄われています。何に使ったのか市民に説明することは最低限の責任ではないでしょうか。

しかし、今のしくみでは会派から1枚の報告書が提出されるのみです。これでは、議員60名分、年間2億4,480万円もの公費が何に使われたのか市民にはわかりません。

また、現在の条例は9つの支出項目を定めていますが、用途基準を細かく示しているわけではないので、解釈の仕方次第で用途範囲を大きく広げることができます。

「たった1枚の報告書」「用途範囲は解釈次第」——今のしくみでは、市民に対してきちんと説明責任を果すことはできません。

## 「より厳正に、よりわかりやすく」日本共産党は自主的に公開しています

2004年度の広島市包括外部監査では、政令市で初めて政務調査費が監査対象となりましたが、一部の会派にスナック・バーの領収書があったことが明るみになり、市民の不信感を一層高める結果となりました。市民の不信感を払拭し、政務調査費の本来の役割を保障するためにも、議会は自ら「エリを正す」必要があります。

これまで日本共産党市議団は、「支出報告書の公開」と「領収書の添付」を議会に働きかけてきました。また、他会派にさきがけて2002年度分から報告書をホームページで公開し、領収書を添付した報告書を議員控え室で閲覧できるようにしています。

また、「より厳正に使い、よりわかりやすく公開」するため、自主的に定めている用途基準や公開資料の様式を見直してきました。

これからも市民のみなさんからの指摘を謙虚にうけとめ、引き続き改善に努めたいと思っています。

ご意見や閲覧の申し込みは 日本共産党市議団事務局 (TEL 082-244-0844)まで

## 自主的な使途基準とこれまでの見直し

現在の条例は使途基準を細かく示していませんので、日本共産党市議団は自主的に使途基準(自主規制)を次のように設けています。

- 調査研究のための出張について、交通費・宿泊費は実費を政務調査費から支出し、食費(宿泊費とセットの朝食は除く)は政務調査費から支出しない。
- 宣伝カーの看板、保険、修理、ガソリン代などは政務調査費から支出しない。
- 選挙関係の内容を掲載したニュースは政務調査費から支出しない。

2003年度には次の2つの見直しをおこないました。

- 条例※が定める「会派代表者の支払証明書」は、県外視察における公共交通機関の切符など、やむをえず領収書がないものを除いて原則使用しない。
- 議員事務所の維持費は、会派代表者の支払証明書を領収書に代えて「一定額を支出する」というやり方をやめ、事務所ごとに領収書を添付する。

※条例第10条(3)

政務調査費を支出したときは、領収証書を徴すること。ただし、領収証書を徴し得ないものについては、会派の代表者の支払証明書をもって代えることができる。

そして、2004年度は次の3つの見直しをおこないました。

- ① 何の調査研究に伴うのか確認できない移動経費(タクシー代・高速道路料金・駐車場代など)には政務調査費を使わない。
- ② 従来、すべて「事務所費」で計上していた各議員事務所の維持費(家賃・駐車場代・コピーリースほか)を、領収書ごとに条例で定める支出項目に仕訳する。
- ③ 人件費の支出が適切かどうかを確認するため、各議員事務所の調査補助員の活動報告を記録・保管する。(2004年11月から)

## 2004年度見直しの説明

### 【①について】

これまで、調査研究に伴う移動経費は、領収書のみで政務調査費から支出してきました。しかし、領収書だけでは何の調査研究に伴う移動経費なのかわかりませんので、その点が確認できるものに限って政務調査費から支出することにしました。

### 【②について】

これまで、各議員事務所の維持費はすべて、条例が定める「事務所費」として計上してきました。しかし、維持費には条例が定める「資料作成費」や「広報費」に該当する支出も含まれるので、領収書ごとに仕訳することにあらため、より実態に近い支出報告となるようにしました。

### 【③について】

全国的な問題として、政務調査費の支出の中で「人件費」が大きな割合を占める一方、その支出が適正かどうかを確認するしくみがないことが指摘されています。

これまで、日本共産党市議団の各議員事務所の調査補助員は、各々が自主的に活動記録(メモ)をとっていましたが、「人件費」の支出の適正性を保障するために記録様式を統一し、領収書と同じく議員控え室で活動報告書を閲覧できるようにしました。

※ 2004年11月からとりくみを始めましたので、閲覧できるのは11月以降の活動報告書となります。

## 使途基準に対する司法判断

京都府宇治市議会の政務調査費をめぐる住民訴訟で京都地方裁判所は2004年9月15日、問題となった支出項目について個別に、市条例が定める使途基準と照らし合わせて適当かどうかの判断を出しました。

この司法判断は、政務調査費の使途基準を具体的なものにする上で参考になると思いますので、以下その内容を紹介し、あわせて広島市議団の対応状況を記します。

### ●視察先への土産代

視察への協力に対する謝礼として、社会通念上、適正な範囲内と認められるものは適当。

⇒ 広島市議団は政務調査費で支出していません。

### ●市政報告に使用する車両のガソリン代

議員活動のために利用する車両の燃料費は適当。なお、私的な用途に利用されていることも考えられるが、その分量を立証することはできない。

⇒ 広島市議団は政務調査費で支出していません。

### ●市政報告に使用する車両の自動車税、車検代、保険料

車両の維持管理は調査研究活動そのものに伴う事務とはいえ、適当でない。

⇒ 広島市議団は政務調査費で支出していません。

### ●政党の発行する新聞雑誌などの購読料

会派と関係のある政党の出版物を購読することが、その政党を経済的に支援し、また政党の方針などを学習するとの側面があるにしても、そのことが直ちに「政党活動」に当たる(=不適当)とはいえない。

⇒ 広島市議団は「しんぶん赤旗」をはじめ、日本共産党が発行する雑誌・書籍を政務調査費で購入し、調査研究活動に活用しています。

●他党派との会議や会派内の団会議に伴う会場費(ホテル部屋代、喫茶店代金など)

その必要性について疑念もあるが、議会の活性化に資する会合ではないと立証することも難しく、適当でないとは言いえない。

⇒ 広島市議団は政務調査費で支出していません。

●茶葉、コーヒー豆、茶菓子、食器用洗剤およびスポンジなど

会議や市民との面談の際、お茶や茶菓子程度の飲食を伴うこともあり、その食器を洗う必要もあるので、適当でないとは言いえない。

⇒ 広島市議団は、議員控え室については基本的にこれらを政務調査費で支出しておらず、議員事務所については必要最小限で政務調査費から支出しています。

●室内装飾費(花など)

会議、面談を円滑に進めるための必要最小限の装飾は、社会通念上、研修会費あるいは調査研究活動に伴う事務の費用といえないことはない。

⇒ 広島市議団は、議員控え室については室内装飾費を政務調査費から支出しておらず、議員事務所についてはモップ・マットのレンタル費を支出しています。(月額800円～1,800円。支出していない事務所もあります。)

## 2004年度 支出の概要

### 【研究研修費】

- 廿日市市・細見谷溪畔林／大規模林道計画の現地視察／6月
- 長野県／社会福祉研究交流集会／村上あつ子、中原ひろみ／7月
- 静岡県／自治体学校／中森辰一／7月
- 東京都／生ごみリサイクル交流会／村上あつ子、中原ひろみ、藤井とし子／7月
- 長野県／自治体問題研究セミナー／中森辰一／1月

### 【調査旅費】

- 兵庫県加古川市、姫路市／住宅リフォーム制度／村上あつ子、中森辰一／5月
- 福島県／小規模修繕契約希望者登録制度／中原ひろみ、藤井とし子／5月
- 東京都／学校選択制度／皆川いし／5月
- 長野県／福祉交流会／中原ひろみ、中森辰一、藤井とし子／8月
- 東京都／生ごみシンポ／中原ひろみ、中森辰一、藤井とし子／8月
- 静岡県／区画整理研究集会／中原ひろみ／10月
- 大阪府岸和田市／市民参画・自治基本条例／5議員／1月

### 【資料作成費】

毎月のコピー利用料のほか、3月に広島市財政分析の研究委託費(大阪自治体問題研究所、20万円)および同パンフ製作費(200部、37,800円)を支出しました。

### 【資料購入費】

新聞購読や書籍購入、法令集の更新のほか、調査に伴う写真現像プリント料などを支出しました。

### 【広報費】

- 市議団ニュース：581号～638号(58回発行)、ほか号外も発行
- 市議会報告：定例会(6月、9月、12月、3月)終了後に議会ダイジェストとして発行
- 各区だより：各議員が発行する地域むけのニュース

### 【広聴費】

中区基町へのスーパー山陽マルナカ出店について住民アンケート調査を実施

### 【人件費】

各議員事務所の調査補助員賃金(1事務所・1か月あたり8万円)

### 【事務所費】

- 議員控え室：コピーリース料、コピー紙、文具など
- 議員事務所：上記のほか、家賃・駐車場(実費)、水光熱費など(月約5万円)

### 【その他】

「その他」に該当する支出はありません。

## 2004年度 年間支出一覧および推移

金額:円

|     | 合計         | 研究研修費   | 調査旅費    | 資料作成費   | 資料購入費   | 広報費       | 広聴費    | 人件費       | 事務所費      |
|-----|------------|---------|---------|---------|---------|-----------|--------|-----------|-----------|
| 4月  | 1,772,206  | 0       | 4,330   | 96,068  | 41,184  | 492,740   | 0      | 400,000   | 737,884   |
| 5月  | 1,586,320  | 0       | 186,020 | 74,078  | 78,945  | 68,460    | 0      | 400,000   | 778,817   |
| 6月  | 1,720,954  | 3,200   | 2,160   | 21,000  | 76,612  | 402,404   | 0      | 400,000   | 815,578   |
| 7月  | 1,577,673  | 70,660  | 0       | 37,005  | 81,541  | 199,342   | 0      | 400,000   | 789,125   |
| 8月  | 1,529,741  | 0       | 180,903 | 21,000  | 53,285  | 88,410    | 24,715 | 400,000   | 761,428   |
| 9月  | 1,347,581  | 0       | 15,850  | 21,000  | 68,739  | 74,287    | 0      | 400,000   | 767,705   |
| 10月 | 1,756,548  | 0       | 39,570  | 52,370  | 112,812 | 486,045   | 0      | 400,000   | 665,751   |
| 11月 | 1,508,039  | 0       | 0       | 38,332  | 40,259  | 78,750    | 0      | 400,000   | 950,698   |
| 12月 | 1,679,737  | 1,200   | 0       | 26,593  | 85,038  | 356,200   | 0      | 400,000   | 810,706   |
| 1月  | 1,786,045  | 69,080  | 70,075  | 32,085  | 56,218  | 467,810   | 0      | 400,000   | 690,777   |
| 2月  | 1,490,425  | 2,550   | 2,090   | 21,000  | 42,039  | 136,097   | 4,800  | 400,000   | 881,849   |
| 3月  | 2,309,734  | 0       | 3,370   | 281,972 | 132,090 | 628,372   | 0      | 400,000   | 863,930   |
| 合計  | 20,065,003 | 146,690 | 504,368 | 722,503 | 868,762 | 3,478,917 | 29,515 | 4,800,000 | 9,514,248 |
| 構成比 | 100.0%     | 0.7%    | 2.5%    | 3.6%    | 4.3%    | 17.3%     | 0.1%   | 23.9%     | 47.4%     |

## 推移

金額:円

|      | 合計         | 研究研修費   | 調査旅費    | 資料作成費   | 資料購入費     | 広報費       | 広聴費     | 人件費       | 事務所費      |
|------|------------|---------|---------|---------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 03年度 | 20,399,784 | 292,840 | 533,970 | 510,787 | 1,270,498 | 3,402,254 | 0       | 4,800,000 | 9,589,435 |
| 構成比  | 100.0%     | 1.4%    | 2.6%    | 2.5%    | 6.2%      | 16.7%     | 0.0%    | 23.5%     | 47.0%     |
| 02年度 | 20,394,887 | 848,070 | 264,920 | 515,419 | 491,135   | 5,232,373 | 637,560 | 4,800,000 | 7,605,410 |
| 構成比  | 100.0%     | 4.2%    | 1.3%    | 2.5%    | 2.4%      | 25.7%     | 3.1%    | 23.5%     | 37.3%     |

